

(所感)

夜景サミット2017 in タイに参加して

長崎市議会議員 毎熊 政直

7月5日から8日までの日程で、一般社団法人夜景観光コンベンション・ビューロー主催による「夜景サミット2017inタイ」に行政とともに参加した。また、JETRO（日本貿易振興機構）バンコク事務所を訪問し、タイの概況や日本企業の進出状況等について調査を行った。

1日目、まずはバンコク市内を走っている自動車のほとんどが日本製で占めていたことに驚いた。

夜景サミットの前夜祭として、長崎の夜景とは違った趣のあるバンコク市内の夜景について、寺院や宮殿を車窓から見ることになった。季節が雨季で蒸し暑いということもあり、涼しい場所で夕食を取る機会が多いとのことで、通りに面した飲食店や屋台では夜遅くまで大勢の人々で活気にあふれて賑わっていた。

2日目の午前中は、JETRO（日本貿易振興機構）バンコク事務所を訪問し、担当者から、タイの概況等について説明を受けた。

日系企業のタイへの進出は4,000社以上で、毎年、増加傾向が続いているが、撤退も多いとのことであった。近年はサービス業や中小企業による進出が増加していた。

タイの医療面では、特に日本人に対しては、日本人専用の受付カウンターの設置や日本人専用の通訳もついており、予約も可能となっている。医療サービスや医療設備の水準が高いことから、中東、アフリカ、アメリカなどからの集客を狙い、メディカルツーリズムに力を注がれていた。

午後からは、夜景サミットに参加した。訪日観光旅行エージェントの担当者、タイ政府観光関係者やマスコミ関係者などに対して、各都市から夜景やイルミネーションについてプレゼンテーションが行われた。それぞれ工夫してPRを行っており、短い時間ながらも各都市・各施設がメディア、エージェントに向け夜景観光の魅力をPRできる場となっていた。2016年はタイの訪日旅行者数は90万人を超え、過去最高となっているため、より多くのタイの人々が長崎を訪れていただくことを期待したい。